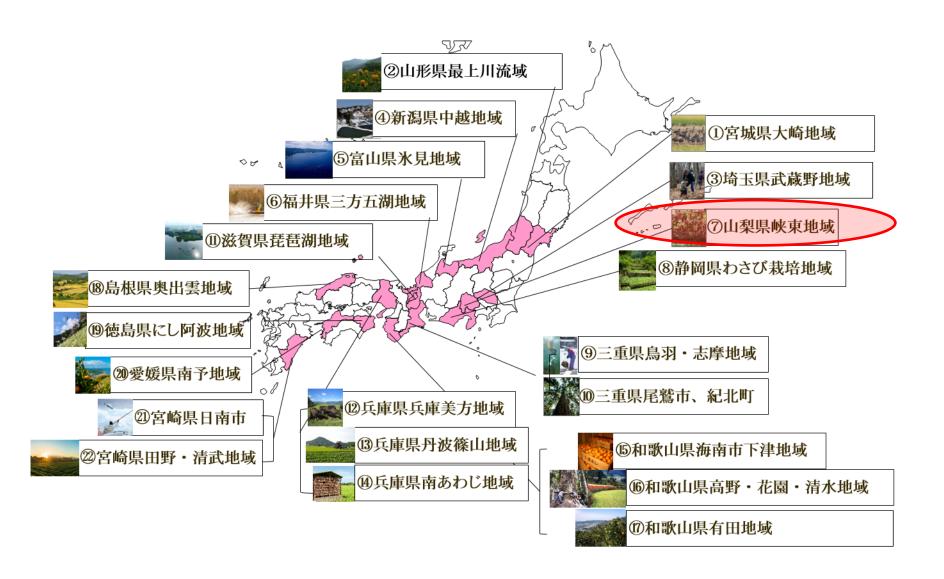
日本農業遺産とは?

- 日本農業遺産とは
- ・ 我が国において重要かつ伝統的な農林水 産業を営む地域(農林水産業システム) を
- 農林水産大臣が認定する制度です。



2

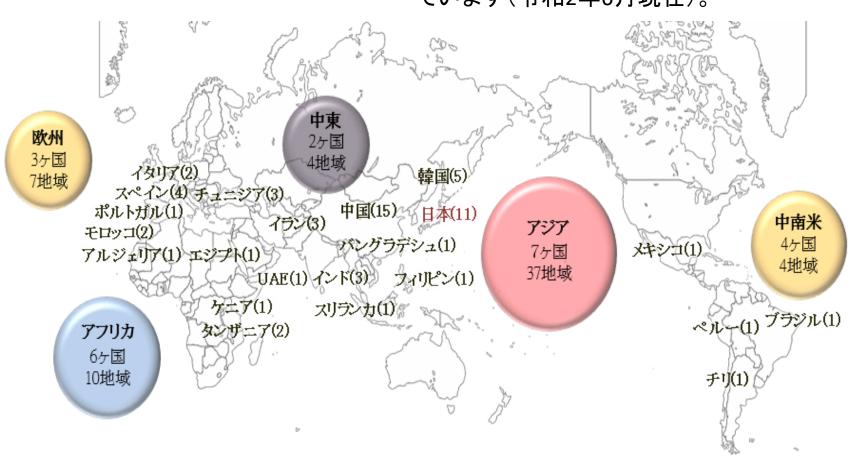
日本農業遺産認定地域 16県 22地



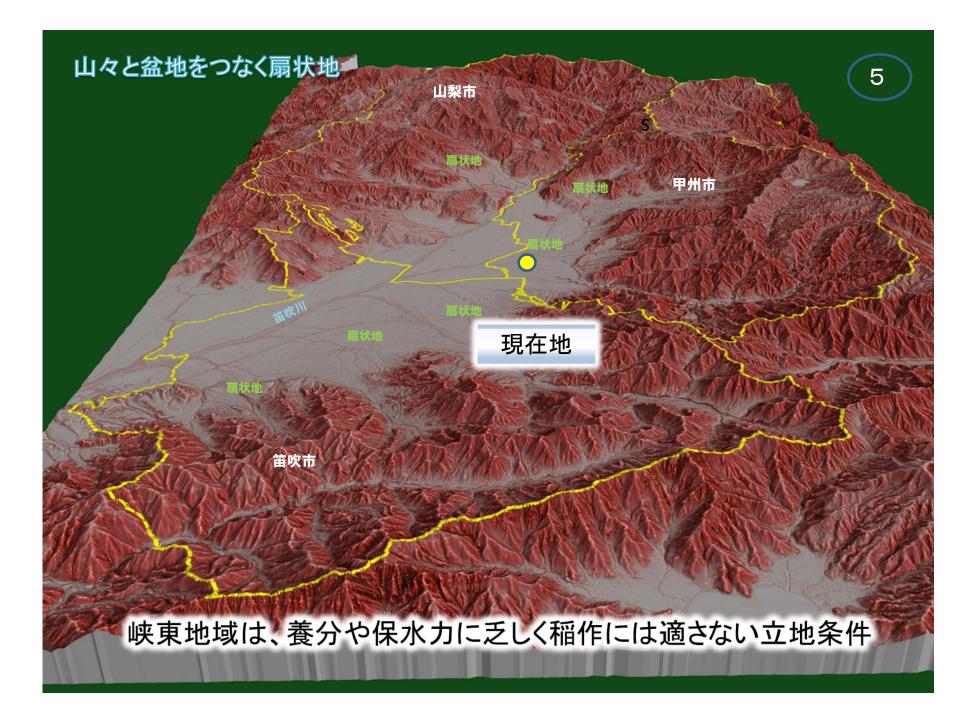
世界農業遺産認定地域



22ヶ国62地域、日本では11地域が認定されています(令和2年6月現在)。

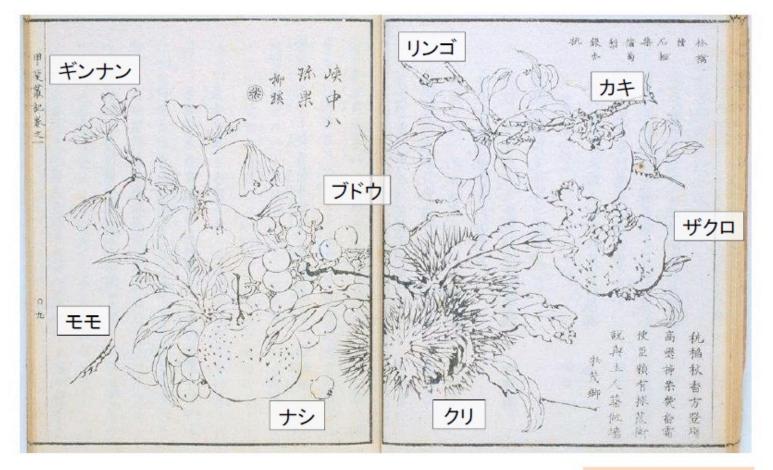


- 1 食料及び生計の保障:農林漁業が地域の人々の生活を支え、経済を豊かにしていること。
- 2 農業生物多様性: 農林漁業を営むことによって重要な生物多様性(固有種 や希少種)が保たれていること
- 3 地域の伝統的な知識システム: 伝統的な知識や独創的な技術、自然資源の 管理システムを維持していること
- 4 文化、価値観及び社会組織:農林漁業に関連した地域特有の文化があり、 地域資源の管理や食糧生産に関連する社会的な組織があること
- 5 ランドスケープ及びシースケープの特徴:長い間、人と自然のかかわりによって保たれ、発展し、緩やかに進化してきた陸や海の景観を有すること
- 6 変化に対する回復力:自然災害の影響を受けても、回復できる力を持っていること
- 7 多様な主体の参加:農業者だけでなく、多様な人材の参加により農林水産 業システムを維持し継承していること
- 8 6次産業化の推進:農林漁業を基盤とした製造・加工業や観光業の発展により、農業遺産システムが保持できていること



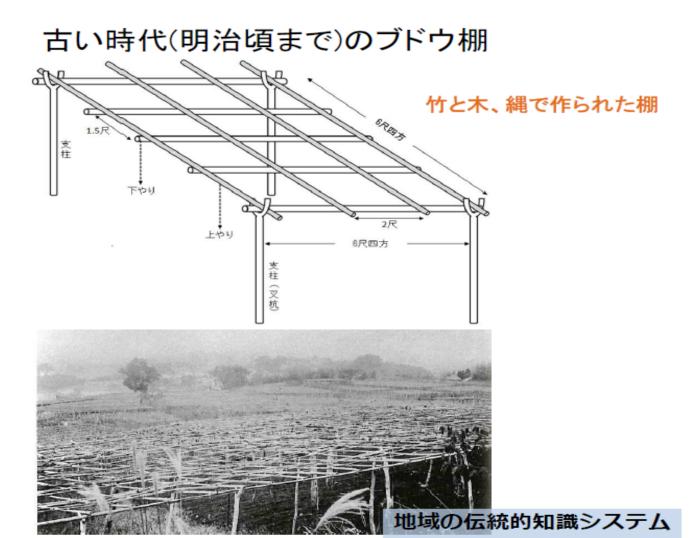
水はけのいい扇状地と言われる土壌は、果樹栽培には適しており、ブドウ、モモ、スモモ、オウトウ、カキなどの多品目の果樹栽培が普及し、既に江戸時代には果樹の産地として「甲斐八珍果」などで知られていました。

甲斐八珍果の図 (「甲斐叢記」1848年)

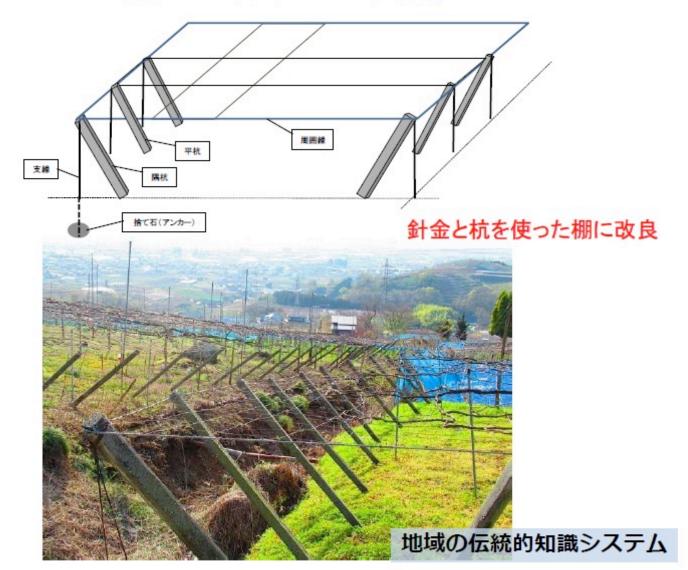


果樹栽培の歴史

中でもブドウは、平安時代から栽培されていたとも言われ、湿潤で降水量の多い日本の気候に適応するため、約400年前に「甲斐の徳本」によって棚に枝を這わせる「棚式栽培」という独自の技術が考案され、現在その技術は日本各地に普及しています。



現在の「甲州式ブドウ棚」



• こうした果樹の歴史を背景に、品種の育成や選抜が行われ、我が国最古のブドウ品種である「甲州」をはじめ、現在では300品種を超える多様な遺伝資源が受け継がれています。

農家が栽培している主な果樹の品目



農業生物多様性 品目、品種・系統の多様性

農家が栽培している品種・系統

ブドウ (148品種、系統)						スモモ(45品種、系統)					
安芸クイーン	クイーンニーナ	勝宝	パナナ	マニキュアフィンガー	コリーヌヴェルト	アーリーリバース	大石草生すもも	恋花火	シュガー	ハニーあやか	李王
アジロンダック	クリスマスローズ	しろがね	ハニー・ジェース	三二甲蟾路	ケルナー	相川ジャンボ	オザークプレミア	2780	1 3.35 1.	ハリウッド	リュウザー
天晴	クルガンローズ	2009	ハニービーナス	関和経(富士の様き)	サンジョベーゼ	秋姫	かがやき	247	"是"	¥1-71-	レートソルダム
アリサ	黒レッパラード	スチューベン	バラディー	モヌッカ	サンセミヨン	秋さやか	管野中生	サマーエンジェル	- 17/2/A	オナーモサ	レッドビュート
アルフォンスラバレー	献上デラ	赤嶺	ピアレス	ヤトミローザ	シャルドネ	アルヴス王子	用印		- +68	125921	早生ソルダム
伊豆錦	恋人	瀬戸ジャイアンツ	BKシードレス	雄宝	シラー	いくみ	(6LE		15	紅りょうぜん	42//0/
ウインク	甲州	セネカ	ピオーネ	ユニコーン	シルバーネル	ウィクソン	月光	サンルーシュ	ハニーローザ	オリートプラム	
ウインディーサマー	甲州三尺	ソニアスイート	ピッテロビアンコ	BB0 金	セミヨン		ケルシージャッセ	サンプルーン	ハニーハート	メスレー	
ウルガンローズ	ゴールドフィンガー	シークリッジ	藤松	リサマート	ソービニヨンブラン		7700 0 17 0		3品種、系統)	774	
炎山	コトピー	高星のロ	● 1 ラジル	リッシュバーバ	ツバイゲルトレード	朝のひかり	紅福	サミット	ダイアナブライト	花駒	北光
黄玉	小指の思い	高麦儿	\$ 1000 NUET	16-11 マスカット	ネビオーロ	寿綿	幸福語	lat H	人利用	富士をかね	まさみ
オリエンタルスター	ゴルゼー	STEEN I	ブラグビート	ルビーオクヤマ	パッカス	羽陽ことぶき	高陽綿	and the same of	一一	紅唇	マドンナの瞳
オリンピア	サニード・チェ	多摩特产力	プレセスフィンガー	レットワイーン	バルベラ	极顶端	光麗	200	フンバ	紅色的	山形美人
甲斐乙女	サニールーンニ	京早品	14(1)シャーガン	レドニアガラ	ビジェノワール	おばこ錦	小区	適のひとみ _	天香绵	紅さかか	夕紅網
甲斐ベリー3	サマーブラック	デラウェア	紅伊豆	ボネヘレスコール	ピノノワール	おりひめの季節	77.1	晶のよそおい	3 東香綿	1794	费绵
甲基路	サンヴェルデ	Edi	紅田	ロザキ	ピノブラン			加重の番	ナポレオ		
甲斐のくろまる	繁苑	ナイアガラ	ベニバラード	ロザリオ ビアンコ	ブラッククイーン	月山錦	今田錦			紅で数	夢ぶかり
甲斐美嶺	禁玉	ニューナイ	ベニバラオー	ロザリオ・ロッソ	ベーリーアリカント	キラーズ	さおり	正光錦	南印易	紅夢鷹	レーニア
カッタクルガン	シトサンネル	ネオマスカット	宝满	我が道	ミューラトルガウ	香夏錦	佐藤錦	ダークビュート	八明諸	紅ゆたか	
キタサキレッド	シナノスマイル	ネヘレスコール	北光	アルモノワール	メルロ		*****	刀牛(13前	種、系統)		
キャンベルアーリー	しまねスイート	ハイ・ベリー	マイハート	ヴィオニエ	モンドブリエ	伊豆	新秋		All Ci	大和百目	
巨峰	シャインマスカット	バイオレットキング	マスカットオフアレキモンドバ	甲斐ノワール	ヤマソービニオン	甲州百目	早秋	西村早	100 年 五面列		
キングデラ	シャイニーレディー	白峰	マスカット ビオレー	甲斐ブラン	リースリング	次郎	太秋	正錘冊	7118		
クイーンセプン	ジャスミン	パッファロー	マスカットベーリーA	カベルネソービニョン	£ 12 20000.	THE PERSON NAMED IN	-Y	O. ST. TANK			WATER A COUNTY
クイーンデラ	ジュエルマスカット	パティオ	マドンナの宝石	カベルネフラン				ALC: NO			- Part 1
			種、系統)				-	ALC: 10		200	
あかつき	紅錦香	長沢白鳳	ひめっこ	八幡白鳳	ワッサー						
浅間白桃	易紀	なつき	ピンキッシュラマキジェー	山一白桃	秀峰	- A				0.0	
一宮白桃	3/6	なつっこ	软分分	山加白棋	スイートネクタリン最玉	COLUMN TO A STATE OF		Man No.		SE 15 10	0.00
一葉	幸福	too been	9 12 Wh	山极自株	スイートキクタリン最光	Mar. 1 (400)			All life shapes in		- MORE
一宮水蜜	清水白桃	夏維美	紅川中島	やまなし白風	スイートキクタリン似王	MILL AND B	COANT			A Total Control	
黄金桃	品度	西野白	二二四見	ゆうぞら	スイートオクタリン製明		THE PARTY	A.mil		一	
黄賁妃	白根白棕	自徘 🕒	当なか	きさま	反田ネクタリン		A China				
おどろき	スイート元黄	白州,	雅都	型しずく	ヒランカレッド						
甲受トウ果17	西王	自秋旬/	100000	したかおり	ファンタジア			121			
加納岩白桃	赤宝	arabidets .	がした森草生	きずら感	笛吹おり小		A STATE OF THE STA	1000	1000		And around the
川中島自株	武井白鳳	latakih .	まだか	建夏妃	フレーバートップ	1	Marie Salar	G. A.	TO CHANGE	Aire Con	
川中島白鳳	ちょひめ	日川日本	みさから娘	2500	Section 1827 Sections			10	SPA	1	
黄美娘	ちよまる	ひだ国府紅しだれ	みさか白風	米倉金棋			√ _ 0 0 0 0 0		MATERIAL TO	29	A A
暁星	つきおかり	ひなのたき	明明的描	奄風	4						Sept 1
クイーン遠藤	つきかがみ	ひめこなっ	もちづき	260周.				AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN	THE RESERVE AND ADDRESS OF THE PERSON NAMED IN	The second second	A Park

農業生物多様性 品目、品種・系統の多様性

果樹農業は、ワイン醸造などの果実加工や観光果実園とともに発展しています。



枯露柿づくり 400年



農産物の直売



ワイン醸造 140年



観光農園 120年 食料及び生計の保障

日本ワインの幕開

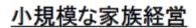


土屋龍憲と高野正誠

本格的な日本ワイン醸 造の歴史は、日本で初 めて設立した大日本山 梨葡萄酒会社が峡東地 域・勝沼の二人の青年を、 葡萄酒会社が明治10年 (1877)にフランスに派遣 したことから始まります。 当時、高野(右)は25歳、 土屋(左)は19歳でした。

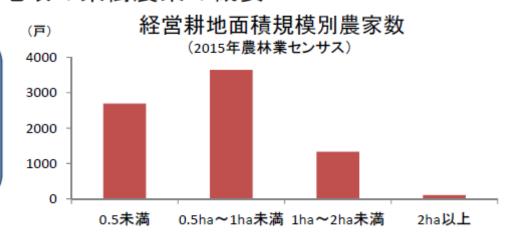


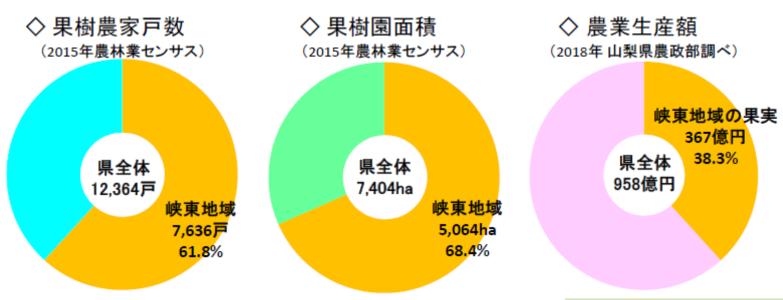
峡東地域の果樹農業の概要



1戸当たりの耕地面積 約 0.7ha

1戸当たりの労働力 約 1.8人





県に占める峡東地域の割合

食料及び生計の保障

草生栽培

草生栽培の目的

- ・刈草による土壌への有機物補給
- 除草剤の削減
- ・雨水による土壌・養分の流亡防止
- ・根による深耕効果
- ・土埃や雨天時の泥はね、泥濘防止 など

映東地域の草生栽培の特徴 地域に自生する様々な草種が 自然に園内に入り込んできたものを利用







農業生物多様性 果樹園の生物多様性

峡東地域ならではのワイン文化





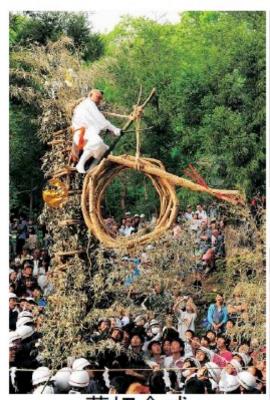
ワインの奉納 (上:一宮浅間神社 下:大善寺)



御神酒にも使われるワイン

文化、価値観及び社会組織

地域に伝わる農業にまつわる祭事



藤切会式 (豊作祈願)



鳥居焼 (虫送り)



天神社(石尊祭)



塩平の獅子舞 (豊作祈願)



大神幸祭 (治水·利水祈願)

文化、価値観及び社会組織







